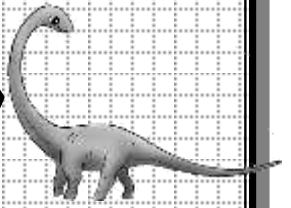


2010年7月

地質 — No. 1

けんぱくものしりシート

# ハナイズミモリウシ

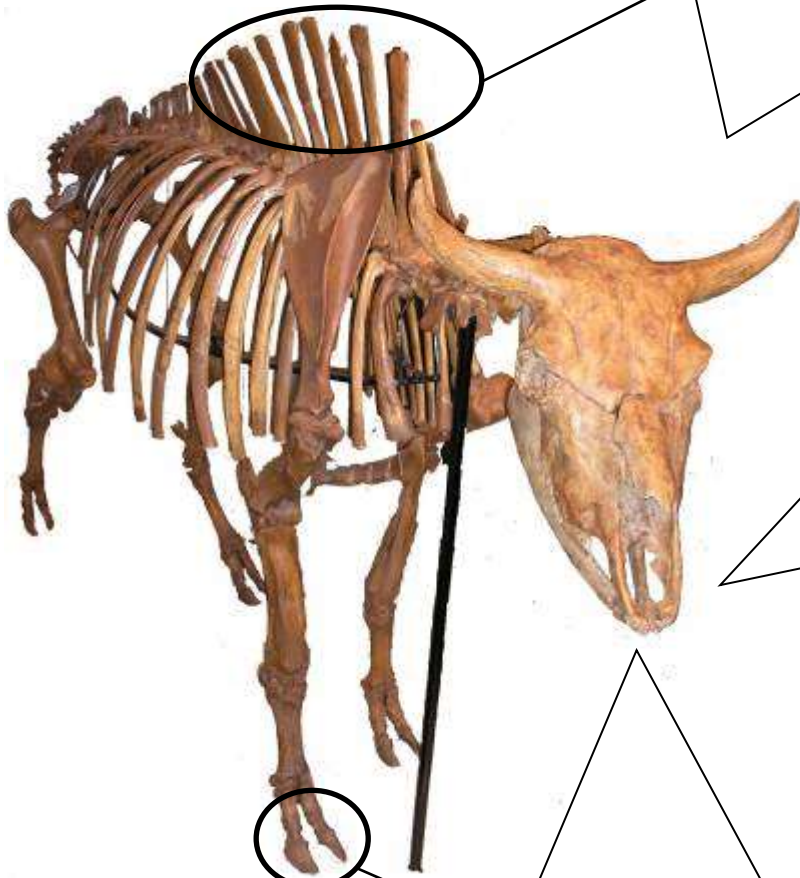


この大きな野牛の名前は「ハナイズミモリウシ」。今から約2万年も前に生きていたんだよ。

背中に立派な骨が並んでいるでしょ。

これは『きよとつき』というんだ。

この骨にそって筋肉がついていて、重い頭を後ろからひっぱって支えていたんだよ。



ボクの名前かわっているでしょ？

見つかった場所が岩手県一関市花泉町で、ボクをほり出すためにがんばってくれた花泉町の元村さんの名前が佐々木盛輔さんだったから、それぞれの名前をもらってハナイズミモリウシになったんだ。

**ぼくのなかまの足あとだ！**  
近くにあるよ！  
さが探してみてね。

足にも注目！足の指は2本だよ。  
偶数（2、4、6・・・）のひづめを持つ動物を『ぐうているい』っていうんだ。  
他にもシカやキリンも同じ仲間さ。



## ハナイズミモリウシ Q&A

Q. 見つかったのはいつ？岩手県一関市花泉町ってどこ？

A. 1927（昭和2）年に見つかったよ。当時、水をひくための穴を掘っていたら、大きな動物の骨がたくさん出てきたんだって。場所は右の地図を見てね。



いちのせきし はないずみちよう  
一関市花泉町

Q. 大きさはどのくらい？

A. 体長は3メートル近くあって、体重は700～800キログラムもあるんだ。ふつうの牛の2倍弱くらいだよ。



Q. どんな時代に生きていたの？

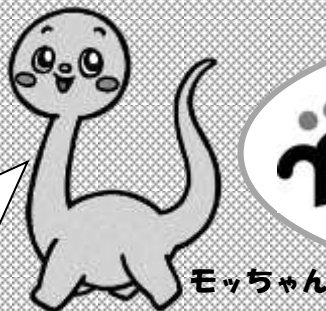
A. ハナイズミモリウシが生きていた頃は、氷河期と言われる時代で、地球全体の気温が下がって大陸が氷でおおわれていたんだ。その氷ができたことで、現在よりも海の水が少なくなって、大陸と日本列島は陸続きとなり、大陸からたくさんの動物たちが渡ってきたんだよ。



参考にした本

『野牛とその時代』岩手県立博物館 1996年 / 『岩手県内化石めぐり』岩手県立博物館 1984年  
『太古の花泉』地域文化研究会 1986年 他

来月（8月）の  
けんぱくものしりシートは  
考古-1だよ！  
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

モッチャン